

Informed Consent Statement

Name of journal: World Journal of Cardiology

Manuscript NO.: 79605

Column: Retrospective cohort study

Title: Does the intracoronary pressure differ according to two types (diffuse or focal) of coronary spasm?

We obtained informed consent regarding the spasm provocation test with a pressure wire from all studied patients. Furthermore, in the retrospective cohort study, we have shown the information about the present study, on our web site (<http://www.jrhh.sakura.ne.jp/annnai/torikumi.html>), as an opt-out method.

Hiroki Teragawa, MD, PhD

Signature: Hiroki Teragawa Date: Aug 29, 2022

The Manager,

Department of Cardiovascular Medicine, JR Hiroshima Hospital,

3-1-36 Futabanosato, Higashi-ku, Hiroshima, 732-0057, Japan

Tel No.: +81-82-262-1171

Fax No.: +81-82-262-1499

Medical Corporation JR Hiroshima Hospital

3-1-36 Futabanosato, Higashi-ku, Hiroshima, 732-0057, Japan

Tel No. +81-82-262-1171

Fax No. +81-82-262-1499

冠動脈造影および冠攣縮誘発試験をした冠攣縮性狭心症の皆様へ

JR広島病院 循環器内科は、冠攣縮性狭心症の臨床研究を行っています

冠攣縮性狭心症とは

冠動脈が攣縮することにより心筋虚血を来し、狭心症や心筋梗塞を来す疾患です。冠動脈が攣縮することにより、冠動脈内に血栓が生じることが報告されています。

調査の名称

局所性冠攣縮およびびまん性冠攣縮における冠動脈内圧較差の評価

調査の目的

当院で過去に圧ワイヤーを用いて冠攣縮誘発試験を行い冠攣縮性狭心症の診断がついた患者さんにおいて、局所性冠攣縮とびまん性冠攣縮の患者さんで、臨床的特徴および冠動脈内圧を比較し、治療に役立てること。

調査の内容

この調査は、2013年1月1日より2017年3月31日までに広島鉄道病院、JR広島病院に入院され、心臓カテーテル検査および冠攣縮誘発試験を受けた冠攣縮性狭心症87例を対象にしています。そのときに得られた、血液検査、冠危険因子の有無、発作の特徴、薬剤内服状況、冠動脈造影の所見および冠動脈内圧が局所性冠攣縮およびびまん性冠攣縮の患者さんでどのように異なるか調べます。

患者さんへ(注意事項)

- ☐ この調査は、通常の検査・治療で得られた過去のデータを使用するものです。
- ☐ したがって、この調査のために、新しいお薬や治療器などを使っていただくことや、検査・採血・アンケート調査を追加することはありません。
患者さんにはこれまで通りの検査・治療を受けて頂きます。
- ☐ この調査にご協力いただいても、金銭・物品などを提供することはありません。
- ☐ この調査は2013年1月1日～2017年3月31日の間で情報を収集します。
- ☐ この調査に協力したくない場合は、遠慮なく担当医師に申し出てください。
その場合でも患者さんが不利益を受けることは全くありません。

プライバシーの保護について

- ☐ この調査のために、研究協力者が患者さんのカルテ等を拝見しますが、患者さんのお名前など個人を特定する情報が決して院外に漏れることはありません。
- ☐ この調査の結果は、専門学会や医学雑誌に発表する場合も、患者さんのお名前など個人を特定する情報は発表されません。

この調査についてわからないことや、気になることがありましたら、

担当医師までお気軽にお尋ね下さい。

連絡先: JR広島病院 循環器内科 082-262-1172